

▼ベージニオ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 アベマシクリブ abemaciclib 【分類】 抗悪性腫瘍薬 [分子標的薬]

【単位】 ▼50mg・▼100mg・▼150mg/錠

【常用量】 1回 150mg, 1日2回■内分泌療法剤との併用■副作用による減量基準あり

【用法】 1日2回経口投与

【透析患者への投与方法】 Ccr 30mL/min 未満の患者のデータなし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 Ccr 30mL/min まではAUCの変化なし (1) Ccr 30mL/min 未満の患者のデータなし (1)

【特徴】 サイクリン依存性キナーゼ (CDK) 4, 6 に対して選択的な阻害作用を示す。CDK4/6 とサイクリン D の複合体の活性を阻害して、Rb 蛋白のリン酸化を阻害して細胞周期の進行を停止させる。ホルモン受容体陽性かつHER2 陰性の手術不能又は再発乳癌に適用。

【主な副作用・毒性】 肝障害, 下痢, 骨髄抑制, 間質性肺疾患, 静脈血栓塞栓症, 皮膚症状, 味覚異常, 脱毛症, 筋力低下など。腎尿細管のトランスポーターを阻害し, 血清クレアチニン濃度を増加させることがある (1)

【安全性に関する情報】 間質性肺炎に関するブルーレーター発出 (2019/5) 特定されたリスクは下痢, 骨髄抑制, 肝機能障害 (2019年)

【F】 45% (1)

【tmax】 5~6hr (1)

【代謝】 CYP3A で代謝 (1) 活性を有する代謝物あり (1)

【排泄】 尿中回収率 3.4% [po] (1) 糞便中に 81%回収され, ほとんど代謝物 (1)

【CL】 肝クリアランス 21.8 L/hr (1)

【t1/2】 27hr (1)

【蛋白結合率】 96~98% (1)

【Vd】 723L/man (1)

【MW】 506.59

【透析性】 資料なし (1) 除去されないと思われる (5)

【O/W 係数】

【相互作用】 P-gp 及びBCRP を阻害 (1) 腎 OCT2, MATE1, MATE2-K を阻害 (1)

【肝障害患者への投与方法】 肝障害時には活性体AUCが上昇 (1)

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【備考】 粉砕不可 [味が悪い] (1)

【更新日】 20190702

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。